

## 市内の小学生が市長にふるさと納税返礼品を直接提案しました ～市のふるさと納税を盛り上げる「オリジナル返礼品」を考案～

泉佐野市立第三小学校（校長：泉谷 一）の5年生が、本日（12月18日）、「総合的な学習の時間」の一環として、『泉佐野市のふるさと納税を盛り上げるためのオリジナル返礼品』を考案し、市長をはじめとする市の関係者に対し提案を発表しました。

発表は、国のGIGAスクール構想に伴い児童全員に配布されたChromebookを活用し、アプリケーションCanva（キャンバ）を使ってプレゼン方式で実施されました。



写真：市立第三小学校のオープンスペース 児童の発表が終了後の記念撮影

この度、ふるさと納税制度の告示改悪にかかる影響で、市の人気返礼品であった「熟成肉」が、10月以降提供できなくなったことをニュース等で知り、児童たちが「自分たちに何かできることはないか」と自発的に考え、その想いを受けた学校側が「総合的な学習の時間」の一環として、考案したオリジナル返礼品を市に対して直接発表する場を設けることになりました。

- ・発表内容：「泉佐野市のふるさと納税を盛り上げるためのオリジナル返礼品」の提案
- ・日時：令和5年12月18日（月） 9:40～10:25
- ・発表者：泉佐野市立第三小学校 5年生
- ・市出席者：  
泉佐野市長 千代松大耕  
泉佐野市教育委員会 教育長 奥真弥  
泉佐野市 政策監 兼 成長戦略室長 阪上博則

▶発表内容 『泉佐野市のふるさと納税を盛り上げるためのオリジナル返礼品』

- ・提案① Tシャツ（泉州タオルの生地で作られており、染色は水なす、玉ねぎ、キャベツを使用。雨の日にもジョギングができるよう、撥水加工が施されている。また、泉佐野市特産の野菜の説明タグが付いているもの）
- ・提案②ラップ（ラップには、泉佐野市特産品の水なす、キャベツ、玉ねぎなどの絵が散りばめられているもの）
- ・提案③コップとお皿のセット（コップの底には「ええやん」「おおきに」などの文字が刻印されており、お皿は泉州の水なすの形でコップの蓋にもなるもの）
- ・提案④お酒と泉州タオルのセット（泉佐野市の地酒に泉州タオルが巻かれているもの）



写真：市立第三小学校のオープンスペース ICT を駆使して児童が発表する様子

▶千代松市長のコメント

今回、児童の皆さんの自発的な想いが発端となったと聞いています。「誰かの為に」という「利他の精神」は、今後、皆さんが大人になっていくうえでとても大切な考え方であると思っています。今回の想い。その豊かな感受性を大切にいただき、ゆくゆくは泉佐野の、ひいては日本の未来を担っていく立派な人材となり大いに活躍されることを祈念します。

▶奥教育長のコメント

本市が ICT 教育を推進する「特認校」である第三小の皆さんから今回の提案をいただいたことを非常に嬉しく思います。Chromebook や最新のアプリケーションソフト Canva を活用したプレゼンもとても分かりやすい提案でした。皆さんが来るべき未来の社会において、立派に活躍していただけるよう、今後も教育環境の充実を図ってまいります。

▶阪上政策監兼成長戦略室長のコメント

ふるさと納税のお礼に寄附者に送付できるのは市内で作られた地場産品となります。本市は一次産品が豊富な自治体ではありません。これまでも事業者さんと一緒にアイデアを絞って「無いなら創ろう」の発想で新たな返礼品を創出してまいりました。今回、第三小学校の皆さんから貴重なアイデアをいただいたのは本当に心強いです。いただいたアイデアは、さっそく持ち帰って検討させていただきます。今後も返礼品のアイデアがありましたら、遠慮なしに仰ってください。この度は本当にありがとうございました。

<泉佐野市立第三小学校について>

泉佐野市立第三小学校は、特認校<sup>※1</sup>に指定されており、「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～を教育目標とし、「ICTを活用した学習」、「たてわり班活動」、「緑豊かな学校」、「地域との交流」の特色ある活動を展開しています。とりわけ、「ICTを活用した学習」では、GIGA スクール構想により全国の小中学校に配備された学習用端末を活用して、これまで培ってきた ICT 教育の基盤を活かし、より進んだ Chromebook の活用に積極的に取り組んでいます。

【※1 特認校とは】・・・特色ある教育活動を展開している学校を特認校に指定し、その教育環境の中で子どもを学ばせたい、学びたいという保護者及び児童に対して、一定の条件を付して通学区域外からの通学を認めるものです。

<泉佐野市について>

大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。日本遺産にも認定された中世日根荘の風景が残る山間部の景観と、大阪湾に面する臨海部にある「りんくうタウン」や「関西国際空港」の近代的な風景が共存するまちでもあります。

平成 6 年に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21 世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関のお問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 ふるさと創生課：塩見（しおみ）、中嶋（なかじま）、林（はやし）

TEL：072-463-1212(代表) FAX：050-3488-2033 E-mail：furusatotax@city-izumisano.com